

下関市総合計画審議会
第3回やさしさ部会
議事要旨

日 時 令和6年6月18日(火)午後3時10分～5時

場 所 下関市役所本庁舎5階大会議室

出席者 藤澤委員、中山委員、畚野委員、山本委員、家根内委員
波佐間委員、倉重委員、伊藤委員、上杉委員、橋本委員、阪本委員
オブザーバー 各部局長

議題

- 1 第2回の振り返り(委員意見への対応と素案修正)
- 2 総合計画の目標指標(KGI/KPI)
- 3 主な取組(旧:重点事業)
- 4 今後の予定

1 第2回振り返り（委員意見への対応と素案修正）

（事務局）

○素案を用いて、第2回専門部会の修正を説明。

（部会長）

○第3章で、こども基本法を踏まえ「最善の利益が図られるよう」と記載がある。国連からの4本柱のうちの他の3つ、差別の禁止、生命に対する権利、児童意見の表明の権利の確保はどうなっているのか伺いたい。最善の利益”等”という表現であれば良いとは思いますが、4本柱の内1本しか記載しない、3本柱に触れないのはいかがなものか。

○すでに規定してある最大の利益以外の3つの柱について触れておきたい。3つの柱について、最善の利益だけでなく、すでに規定してあることのため、あと3つも内容として入れておく必要があると思う。そこを最善の利益等という形で記載すれば、あとの3つを詳しく組み込むことが出来ると考える。

（こども未来部）

○児童の権利に関する条約の四原則がすべて記載されていないというご指摘を踏まえ、記載を改める。

（部会長）

○埋葬法では、土葬を禁止していないことは以前の部会で確認した。憲法94条等で地方自治法を見ると、法律の範囲内で条例を決めることが出来ることは認めている。埋葬を条例で禁止することは可能か。

（市民部）

○実際に法律で定めている内容を別の法律、いわゆる特別法で規制するということはあり得る。条例では、環境衛生の観点から墓地への埋葬を火葬した遺骨に限るという形で規制しているものと理解する。

（部会長）

○要するに埋葬法の内容が本市の条例と反してないという理解で良いか。

（市民部）

○そのように理解している。下関市の市営の墓地では土葬はされていないと理解いただきたい。

2 総合計画の目標指標（KGI/KPI）

（事務局）

○素案を用いて、総合計画の目標指標について事務局から説明。

（部会長）

○第1回目の審議会で時に話題になったのが少子化だったと思うが、少子化に対して市がどのように取り組むかKGIとして設定はないのか。

（事務局）

○他の部会でも意見があり、合計特殊出生率等の設定を検討している。また、人口減少対策として人口を目標にすれば良いのではという意見もあった。

人口については、合計特殊出生率を2と仮定した時、どれほど抑制が出来るかの推計値を示したが、2にするために必要な要素についての検討は必要。

現在本市での合計特殊出生率は1.3前後。これをゴール目標KGIとするのか、3章子育て施策の

KPIとして記載するかは議論を要する。

人口の記載について、夢を語る部分は必要だが、すべての施策が相まった結果が人口抑制、社会減抑制、自然減抑制であり、全施策が関係する中で数値の設定は非常に難しいことから、KGIとして数値は示していない。

少子化対策として、計特殊出生率をKPIとして設定するかについては、各施策に対してKPIを示しており、ある程度目標達成した際の人口減少の抑制についての記載の有無やどこに記載するかは議論したいと思う。

(部会長)

○KPIの目標値や基準値は、まだ空欄なのか。

(事務局)

○今回、ゴール目標KGIやKPIについての委員の意見を聞き、該当する項目について直近の数値を取る。5年後、10年後の目標についても根拠が必要であるので、第4回目の専門部会にて提示する予定。

(委員)

○目標指標が全国学習状況で調査するとなっているが、学力だけで調査するのは、目標指標として適切かどうかは疑問に感じる。

学力が上がったため、目標達成出来たと判断して良いのか。夢を描ける機会であるなど、学力だけで測れない指標を加えても良いと思う。

(委員)

○学力調査は、全国が調査をする場合に扱われる基準だと思う。学習状況を踏まえ、全国の1つの指標になる。大きな基準になるものと捉え、教育委員会が1つと設定するのであれば、私は良いと思う。

(部会長)

○学習状況調査で子どもたちの意欲など、点数だけではなく評価出来る項目があった方が良いと思った。小中学生の保護者等や小中学校の教職員についても良いと思う。

(教育部)

○全体の成長の中で、KPIという動きがあると認識している。もちろん学力ではなく、心など全てが学力だけではないが、しかしある程度数値として見られるのは学力というところに着目した時に、出来ると判断し目標指標に取り入れた。

(委員)

○学力だけに囚われず、学力状況調査も取り入れるということであれば、問題はないかと思う。個人的に子どもたちが最終的には将来の夢や目標を持っている子どもたちの割合という形になるため、もう1つ指標があっても良いのではと感じる。KPIが2つあっても良いのであれば、例えば子どもたち1人1人に生きる力が備われていると感じる市民の割合というものも入れることは良いのかと思う。

(事務局・教育部)

○委員の発言の通り全国学力状況だけでなく、もう1つ夢や目標に繋がるようなKPIを追加で1個入れるということは問題ない。

○委員意見を踏まえ、検討の結果、追加KPIとして「自分には良いところがあると思う児童生徒の割合」を設定する。

(部会長)

○高齢者の詐欺事件が増加傾向にあると思うが、詐欺事件に関して記載はあるか。

高齢化率が上がっていく中で、高齢者の方々が安心して暮らせるようにと記載が散見される。別の部署で、防犯に関する記載があれば良いが、特に高齢者福祉のページということで提案したまで。

(市民部)

○高齢者にかかわらず昨今 SNS を使った特殊詐欺や高齢者を狙ったうそ電話詐欺がある。防犯について記載しなければいけない事項ではあると認識している。

3 主な取組 (旧：重点事業)

(事務局)

○素案を用いて、主な取組を事務局から説明。

(副部長)

○幼児教育・保育を担う保育士や施設の確保について

主な取組について、保育士の確保及び辞職防止や施設の整備が取組と記載がある。主なり組みの前の文章の段階では、保育士の処遇改善という文言があるが、主な取組の方に保育士の処遇改善を取組みに含むことは検討出来ないか。

理由としては、0 歳児から子どもを預けられて、保育士の責任や負担は今後増加していくと思う。保育士の処遇改善あってこそその離職の防止等につながると感じ、主な取組に入れた方が良かった。

(こども未来部)

○処遇改善については市としても中心的に取り組んでいるので、主な取組に追記する。

(委員)

○食育の推進

食に関する正しい理解等の部分、食に関する指導は学校教育全体の中で行うということで、各教科”等”があった方が良く思う。

また、主な取組の地場産食材の利用、積極的な栄養指導と記載あるが、食に関する指導は栄養だけに限らず、社会性や感謝の心といった観点で示されていると思う。栄養指導に特化したことだけでなく、広い意味での食育が良いのではと感じる。

(教育部)

○栄養教諭を中核として意図的に記載しているが、ご指摘の通り、幅広いと点もあるため、委員意見を踏まえ、表現を修正する。

(委員)

○キャリア教育の推進

キャリア教育は職場見学、職業体験、就業体験活動に加えて、学校に様々な職業の方が出前授業のような形で話をするのはどうか。その職業に対する興味関心、その方を通して職業自体の魅力を感じることが出来ると思う。職業体験活動”等”の実施など大枠で検討いただけないか。

(教育部)

○キャリア教育の推進や出前授業については、学校が積極的に行くというよりは、各地域の中で来てもらうという形態が様々ある。そのため主な取組には入れてはいない。これは委員の指摘のように、体験活動等に含まれると思う。該当の部分は委員意見を踏まえ、表現を修正する。

(委員)

○キャリア教育の推進

主な取組として職場見学、資格取得の推進として下関商業高校においては最新の ICT と記載ある。

資格取得の推進というのは具体的にはどういうことを指しているのか。

(教育部)

○資格取得の推進を主な取組に入れた方が良いのではと最初の部会で指摘があり追記したものである。具体的には下関商業高校で簿記や情報処理など様々な資格取得を促進することで記載したもの。

(委員)

○生涯学習拠点施設の機能強化

主な取組にある公民館等の Wi-Fi の整備などデジタル化だが、資料 4 では公民館等というところが抜けている。しかし素案では公民館等の Wi-Fi 整備が残っている。どちらが正しいものか。

(事務局)

○記載を修正する。

(委員)

○防災減災対策の推進

主な取組が、4 月の素案では 15 個、今回は 6 個に集約されている。集約した理由を説明して欲しい。

(総務部)

○ご指摘の通り 4 月の素案時には多数記載があったが、例えば防災メールの普及啓発強化に関して、当初は重点化していたがすでに数年経過している。重要ではなくなったのではなく、特に注力して取組を行わなければならない部分を書き出した形となる。そのため個数が減っている。

(委員)

○動物の愛護及び管理の推進

主な取組にワクチンの接種の推進を入れるのはどうか。飼い犬でも狂犬病になる可能性があると言われている。ワクチンの接種を進んで取り入れる必要があると感じる。そのため下関市ではどの程度取り組んでいるのかを伺いたい。

(保健部)

○狂犬病の予防注射は法定接種で、登録されている犬に対し、従前から定期的に接種されており、現在、積極的に推進して行かなければならないという認識はない。

(委員)

○キャリア教育の推進

マイノリティーや様々な考え方を持つ人がいる中で、どのようにすれば下関市では苦しみを感ずることなく住むことが出来るのか、表現を検討している。小さな枠の中で苦しんでいる人がいると聞いている、そのような悩みを持つことなく生活出来るようになれば良いと考える。市が一步先をいければ良いが。

(市民部)

○男女共同参画というのは女性の社会進出を促すということで作られた言葉ではあるが、男女という括りで良いのかは一度考えるべき段階だと思う。市として遅れている部分もあるため、また検討していきたいと思う。

【今後の予定】

以上